２０２５年度

１月患者ご意見・謝辞

本日、診察の為来院しましたが、女医希望とお願いしておりましたが、女医が皆、退職の為、男性医師が「担当させて頂きます」「内診は致しません」と言ってくれた。お薬の処方だけなのでお薬の処方をして頂きました。「木曜日の方が女医がいることが多いので、木曜日で予約を入れました」しかし、母の病院に行く事も多いので、もし無理な時はお電話で予約の変更をお願い出来ますかと聞いたのですが、「私も退職するので、女医がどうしてもいいというのであれば、別の病院やクリニックの方が女医がたくさん居ると思いますので、次回その事を相談して下さい。」と、突き放された感じがしました。先生が退職されるのは個人的な事で、それを患者に押し付けられても困ります。女子医大というのであればせめて産婦人科に女医を増やして下さい。宜しくお願い致します。他の科も先生が変わられる事が多いので、宜しくお願い致します。

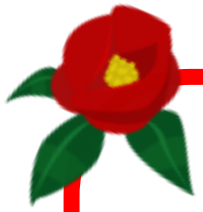
この度は医師の対応で大変ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。
女性医師の不在について、大変ご迷惑をおかけしたこと深くお詫びいたします。
医師の補充・適切な人材確保について取り組んでおりますが、時間を要する課題でもあります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

夜中にブザーがなりまくる、点滴装置を付けられ、夜中に全然寝ることができなかった。ベテランの看護師さんは仕事も丁寧で感心しましたが、若い看護師の中には、めんどくさいとかやりたくないとかで、別の案件の方にすぐに行ってしまい患者を平気で1時間～３時間ぐらい待たせるという事が多々ありました。ICU内ではしかたないと思いますが、一般病棟に移動してもなお同じ風潮があったので、そこは病院の機能としてはいかがなものと思います。

この度は入院中につらい思いをされたとのことで、本当に申し訳ありませんでした。患者さまの立場に立って対応するよう、部署では再教育を実施しました。また、経験や部署に関係なく、高い質の、均一な医療が提供できるよう、医療従事者間でのコミュニケーションをより深めていくように努力いたします。

いつも大変お世話になっております。私は客観的な視点から症状がわかる訳では無い為、双方の（医師と私）理解が最低限必要と思っています。理解してくださる方はどんな立場の方であっても1人の立場以前に、人間の常識が持ち合わされています。どんな方でも常識を持ち合わせている方は、優しい扱いをしてくださり助かり、何も考える事無く、身を委ね診察や処置を安心して受けられる次第です。公衆の目前で患者のプライバシーや個人情報をさらすのは問題だと思います。

**　この度はご不快な思いをさせてしまい大変申し訳ございませんでした。個人情報の保護については、医療安全の根幹であり、日頃の診療をする上で教職員に周知徹底をしている部分です 。**
診療科の特殊性等もあり、ご指摘いただいた診療科の診察スペースは個室ではありません。このため、説明等の際は十分な配慮が必要と考えます。
今回のご指摘を診療科内で共有するとともに、非個室での説明の際には改めて留意してまいります。ご指摘ありがとうございました。

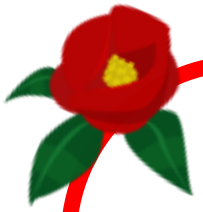


いつも泌尿器科で長くお世話になっております。毎回、〇〇先生、看護師さんには助けられております。又丁寧な対応に感謝しております。そして縁の下の力持ち、サポートしている派遣の方々ありがとう。入院予定、通院、検査の予定組といつもしてくれる女性の方、最高にすばらしい。気さくな対応、皆さんに丁寧な対応すばらしい。これからも宜しく。

職員へのお褒めの言葉をいただきましたこと、深く感謝いたします。
お褒めの言葉は何よりもうれしい贈り物です。本当にありがとうございました。

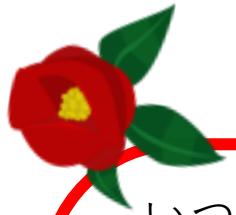
１か月半の入院生活、不安や戸惑いがあるなかで患者の気持ちに寄り添い、とても細やかなケアをして頂き、長かった入院生活もあっという間に過ごすことができました。出産の際、立ち会って下さった先生方、専門的な知識と術中も患者の気持ちを取り残さず、声かけや対応をして頂き、一人じゃないんだととても勇気づけられました。術後の説明もとても分かりやすかったです。スタッフの方に、不安なこと、分からないこと、いつも相談にのって下さり、出産後は、笑顔で声掛け下さり嬉しかったです。本当に感謝しております。産後の赤ちゃんのお世話や授乳についても、経験豊富なスタッフの皆さんにいつでも相談でき有り難かったです。無事にかわいい我が子を抱くことができ、こちらの病院でお産をして本当によかったです。

医療スタッフへの温かな“ことば”を頂きましたこと感謝申し上げます。
長期に渡った入院生活後に、お子様を抱けた喜びが伝わるうれしいご報告でした。
本当にありがとうございました。



今まで、毎日１万歩位歩いて元気に趣味で１か月３回位海釣りを楽しみ、週に1回吹矢、又月に2回ノルディクウォーキングと第二の人生を楽しんでおりました。ところが突然の病で当病院の先生の的確な判断及び手術をして頂き又病室では、テキパキとあるいは、やさしく接して下さりまさに白衣の天使でした。食事も初めは、なかなか食べれませんでしたが、徐々に食べれる様になり、夕食に出たサバの味噌煮、骨が１本もない魚なんて食べた事がありませんでした。患者思いの食事に感謝致しました。お陰様で今日退院しますが、次々と運ばれてくる患者様もよろしくお長い申し上げます。本当にありがとうございました。

この度はうれしいご報告ありがとうございました。
入院中のお食事に関して頂いた「患者思いの食事に感謝」という言葉は調理部門のスタッフのやりがいにつながります。本当にありがとうございました。
退院後も楽しい暮らしを続けて頂くよう願っています。



いつもありがとうございます。
継続的に通っておりますが、他院に比べ機械化が進んでおり、スムーズで待ち時間も少なく、特に会計は他院に比べて早く、ストレスなく通院できてます。色んな声があると思いますが、良いところは失わず、改善を進めていただければ嬉しいです。大学病院の体験としてとても価値があると思います。

「色んな声があると思いますが、良いところは失わず、改善を進めていただければ嬉しいです」このような温かな言葉は本当に心にしみます。この言葉を大切にして参ります。ありがとうございました。

超高齢化社会の日本。年寄には、言葉で言っても、耳が遠くて会話にならないんだから、紙に大きめに書いて渡せよ。周りの自分達からすると「いつも同じ事を言ってんだよ」とすごくストレスだ。病院で働くスタッフなら、それぐらい分かっとけよ。何か治療する時も、部屋のドアを閉めてやれと。周りに患者が居るのを忘れんなよ。

当院では、聴覚障害のある患者様とは、手話、補聴器、筆談などの方法を用いてコミュニケーションをとることを指導しています。また難聴の患者様とは、静かな場所で、大きな声で、聞き取りやすく話すことを指導しており、今後もこの方針に変更はありません。
これら配慮が逆に、今回の患者様には、ストレスにつながったと認識します。
病室での処置は、処置室で、ドアを閉めて、対応するなど指導して参ります。また、超高齢化社会に向けた支援の方法など、改めて整えていきたいと考えます。

私は新宿から来た者ですが、こっちの女子医大は、やっぱり違いますよね。まず、文句を言っている患者さんに対応しなさいよ。じゃあないと、周りで治療で辛く寝ている患者さん達は何も言わなくても、その人達がゆっくりと休めなくて迷惑してますよ。

この度は、他の患者様への対応で大変ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。今後このようなご指摘を受けないよう周囲の環境にも十分配慮するよう指導して参ります。